

三宅氏が民主離団

川崎
市議会 第一会派から「陥落」

定数問題をめぐり、民主党川崎市議団の三宅隆介氏(39)と多摩区IIが7日、離団した。4日に離団・離党の意思を表明した伊藤久史氏(52)についても、正式に

手続きが行われた。両氏の離団により、同市議団は15人となり第一会派から「陥落」した。

飯塚正良団長によると、三宅氏は先月下旬、「民主

党川崎市議会議員団だより」と題した文書で、議員定数削減について議事録の残らない会派の代表者による団長会議で決めたことを、「談合3減案」と批判。執行部が内容の撤回を求めたが、三宅氏が「従えない」と主張、離団勧告を受けていた。同市議団は2007年の市議選で、マニフェスト(選挙公約)に議員定数「7減」を盛り込んでいる。定数削減は、民主、自民、

公明の主要3会派が昨年未、団長会議で現行の63から60に3減することを含意。これに対し、両氏ら民主党市議団の6人が1月26日、潮田智信議長に開かれた場での議論を求める緊急要望書を提出しようとした。しかし「団の総意でなければ受け取れない」として拒否されている。

飯塚団長によると、両氏以外の4人は、団を飛び越え議長に要望書を提出したことを謝罪したという。主要3会派は、15日開会の市議会定例会に「3減案」を提案する予定。民主党市議団は、団員に会派拘束を掛けるという。両氏の離団による会派構成は次の通り。
自民16、民主15、公明14、共産10、神奈川ネット2、無所属5、欠員1。

(佐藤 英仁)